

| | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|-------------|---------|-------|----|
| 授業科目 | 地域福祉計画特講 Planning for Community Care | | | 担当教員 | 韓 榮芝 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1・2年/前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>地域福祉計画は、単に社会福祉サービスの量的目標を計画すれば良いというものではない。本授業は、①どのようなまちづくりの理念に基づいて、地域福祉の推進を市町村は展開しているのか、②どのような社会福祉ニーズがその地域にあり、どのような解決策を住民が求められているのか、③住民が抱える問題解決のシステムやサービスの内容、そのサービスの量の予測とそれにかかる経費、あるいは計画策定に住民はどのように参加し、関与し、見守るのか等、佐世保市の地域福祉計画策定の過程それ自体がいわば地域福祉実践そのものから理解することを目指す。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 地域社会の現状に対して、自らの見解を述べることができる。 | | | 授業態度・授業への参加 | | 20% | |
| 思考・判断 | 地域社会における地域福祉課題について理解できる。 | | | 課題レポート | | 60% | |
| 技能・表現 | 地域福祉の概念、方法、地域福祉計画等に関して正確に説明できる。 | | | 受講者の発表 | | 10% | |
| 知識・理解 | 地域福祉計画の内容として、その理論的課題と地域福祉計画の今日的位置とその意義について理解できる。 | | | 受講者の発表 | | 10% | |
| 出 席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合 計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>試験は実施せず、課題レポート（2000文字程度 60%）、授業毎に出席カードのコメント欄に記入したコメント（20%）・質問の内容（10%）、ディスカッション（10%）などによって評価する。この科目では、60時間以上の授業外学修を行うものとする。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>人口減少、少子高齢化、世帯の極小化、地域社会の混住化、広域化などが進行しつつある日本では、地域福祉ニーズも複雑化・深刻化が増している。2000年に改正・施行された「社会福祉法」は、福祉サービス利用者の利益の保護と地域自立生活支援を展開する新たな地域福祉推進をうたった。近年各市町村に「住民参加」で「地域福祉計画」を策定することが進められた。そのように位置づけ、時間をかけ、住民参加の方法を多様に展開する先駆的な実践例を踏まえながら、佐世保市をはじめ、地域福祉計画づくりがどのように行われ、どのような過程と考え方を大切にされたか明らかにする。また、その実践過程で明らかにされている視点や方法は地域福祉実践者にとってコミュニティソーシャルワークを展開していく上でどのようなポイントになるかについてディスカッション等の手法を用いて検討する。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に指定しない。資料を配布する。 参考書：日本地域福祉研究所監修、大橋謙策・原田正樹編、2003、『地域福祉計画と地域福祉実践』万葉舎出版。 （参考文献等は講義中に適宜紹介する。）</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>講義外では、各自の問題意識との関連性を意識して、講義中に紹介する関連文献を読んで欲しい。 また、一般的な講義形式とせず、指定した関連文献に対する報告と、それに基づいた議論を深めることも院生に求めたい。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|---------------------------|----------------------------------|---|
| 1 | 地域福祉計画の基本的枠組 その1 | 戦後社会福祉の展開と社会福祉法制にみる 地域福祉計画の位置 | 戦後の社会福祉法制の流れを予習する。 |
| 2 | 地域福祉計画の基本的枠組 その2 | 新しい社会福祉サービスシステムとしての 地域福祉と地方分権 | 戦後の社会福祉法制を復習し、新しい社会福祉の考え方の整理と各自の研究課題を予習する。 |
| 3 | 地域福祉計画の基本的枠組 その3 | 地域福祉計画策定における住民参加の考え方 | 新しい社会福祉の考え方を復習し、住民参加の重要性の確認と各自の研究課題を予習する。 |
| 4 | 地域福祉計画の基本的枠組 その4 | 地域福祉とコミュニティソーシャルワーク | 住民参加の重要性を復習し、地域福祉の実践課題と各自の研究課題を予習する。 |
| 5 | 地域福祉の考え方と地域福祉計画の位置 その1 | 地域福祉計画の基本的性格 ～2つの源流的実践分析から | 地域福祉の実践課題を復習し、地域福祉の源流と各自の研究課題を予習する。 |
| 6 | 地域福祉の考え方と地域福祉計画の位置 その2 | 日本における地域福祉計画の位置と系譜 | 地域福祉の源流を復習し、地域福祉計画の流れと各自の研究課題を予習する。 |
| 7 | 地域福祉の考え方と地域福祉計画の位置 その3 | 社会福祉基礎構造改革と地域福祉計画 | 地域福祉計画の流れを復習し、社会福祉基礎構造改革の背景を予習する。 |
| 8 | 地域福祉計画の視点と内容 その1 | 包括的な地域ケアシステムの背景と変遷 | 社会福祉基礎構造改革の背景を復習し、包括ケアシステムの整理と各自の研究課題を予習する。 |
| 9 | 地域福祉計画の視点と内容 その2 | ケアマネジメントシステムの構築の背景と変遷 | 包括ケアシステムを復習し、ケアマネジメントシステムの理解と各自の研究課題を予習する。 |
| 10 | 地域福祉計画の策定過程とその視点 その1 | イギリス・コミュニティケアプラン | ケアマネジメントシステムを復習し、海外の考え方への理解と各自の研究課題を予習する。 |
| 11 | 地域福祉計画の策定過程とその視点 その2 | 日本の地域福祉計画の策定過程（事例） | 海外の考え方への理解を復習し、日本の事例から整理すると各自の研究課題を予習する。 |
| 12 | 地域福祉と住民参加 その1 | 福祉計画と住民参加の位置づけ | 日本の事例を復習し、福祉計画と住民参加の理解と各自の研究課題を予習する。 |
| 13 | 地域福祉と住民参加 その2 | 地域福祉計画への住民参加の類型化と手法 | 福祉計画と住民参加を復習し、住民参加の具体化への理解を予習する。 |
| 14 | 地域福祉計画策定の課題 | 地域福祉計画の策定・評価の視点と方法 | 住民参加の具体化を復習し、地域福祉の実践を予習する。 |
| 15 | まとめ | 講義全体のまとめを行う。 | 地域福祉の実践を復習し、講義全体の論点を予習する。 |